

2018年10月19日

東急建設株式会社

ミャンマー連邦共和国にて鉄道工事を受注 ～ヤンゴン-マンダレー鉄道 CP103 工区 116km16 駅を契約～

東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：今村俊夫）は、この度ミャンマー連邦共和国において、本邦ODAによる「Yangon-Mandalay Railway Improvement Project Phase I CP103」をミャンマー国鉄より受注、9月28日に首都ネピドーにおいて契約調印式を執り行いました。

本事業は、総延長で5,934kmある同国鉄道網の中でも、ミャンマー最大の商業都市ヤンゴン、首都ネピドーおよび第2の商業都市マンダレーを結ぶ重要路線（約620km）のうち、第1期事業としてヤンゴン～タウンゲー区間（約267km）の既存鉄道を改善する工事となります。

当社は、その内のCP103工区（ニャウレビン～タウンゲー区間）を約220億円（円換算額、予備費を含む）にて受注いたしました。

主な内容は、軌道工事を含む土木工事及び信号・通信工事となり、工期は48ヶ月で2022年末の完成を予定しています。

本事業を通じて、老朽化した施設・設備を改修し近代化を図ることで、より安全で高速な輸送サービスの提供が可能となり、同国の今後の経済発展に寄与することが期待されております。

当社は「中期経営計画2018-2020（Shinka2020）」における国際事業戦略に基づき、今後も東南・南アジアにおける鉄道・道路領域の建設事業拡大を目指してまいります。

【工事概要】

工事件名 : ヤンゴン-マンダレー鉄道改善工事 第1期事業 CP103工区
(案件名) Yangon-Mandalay Railway Improvement Project Phase I CP103

発注者 : ミャンマー連邦共和国 運輸・通信省、ミャンマー国鉄
工事場所 : ミャンマー連邦共和国 バゴー地域（ニャウレビン～タウンゲー区間）
受注者 : 東急建設株式会社
予定工期 : 2018年11月～2022年10月
概要 : 工事延長約116km、16駅
軌道工事、土木工事、橋梁工事、構内工事、信号工事一式、
通信工事一式 他



タウンギー駅の現況



オクトウィン駅の現況



整備前の橋梁



整備前の軌道

< 本件に関するお問い合わせ >

経営戦略本部 経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ 西田

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: webmaster@tokyu-cnst.co.jp